

やまちゅうスクエア

吹田市立山田中学校 学校だより 平成30年12月 第9号

災い転じて福となす・・・災害に学び、教訓化して、防災・減災に！

校長 溝口 千鶴

今年一年を振り返ると、自然災害が多かった一年でした。6月には大阪府北部を震源とする地震（吹田市で震度5強）が起これり、9月には、台風21号により街の屋根や壁、木々が吹っ飛び、続いて北海道で震度7の地震が起これりました。本当に今年は、びっくりするような災害が次々と日本を襲いました。

2011年3月に生起した未曾有の東北大地震は予想をはるかに超える津波や原子力発電所事故等により15000人を超える方々が犠牲となりました。

大地震直後の気仙沼市立階上中学校卒業式における『卒業のことば』で、卒業生代表の生徒が

「自然の猛威の前には、人間の力はあまりにも無力で、

私たちから大切なものを容赦なく奪っていきました。

天が与えた試練というには、むごすぎるものでした。

つらくて、悔しくてたまりませんでした・・・<中略>・・・

命の重さを知るには大きすぎる代償でした。

しかし、苦境にあっても、天を恨まず、運命に耐え、

助け合って生きていくことが、これからの私たちの使命です。」と涙ながらに語りました。

今年は、地震や台風や冠水などに対して、日ごろから備えておくべき防災物資や準備しておくことに向き合わざるを得ない1年でした。学校においても、地域と連携した防災の取り組みや非常時の集団下校に備えた準備を進めてはいます。命の大切さをかみしめながら、改めて、自然災害に学び、教訓化して、今後に活かしていくことが大切だと実感しました。

<山中生の輝き>

10月と12月、「山中の生徒さんに感謝してます！」という電話が入りました。

1件は、路上で転んでケガをして泣いていた小学校1年生の児童にやさしく声をかけ、山中の保健室まで付き添い、養護教諭の鹿田先生に安全保護のバトンをつないだこと。

もう1件は、近隣の保育園で散乱している書類を拾い、保育園まで届けたこと。

どちらも、見て見ぬふりをする事なく、勇気を出して自分ができることを行ったことです。感謝の声を聞きながら、輝いている山中生徒の姿が目につかぶようでした。

<年末火災予防について>

冬の季節は空気が乾燥しており、小さなボヤでも延焼しやすくなります。吹田市消防本部「いのちを守る7つのポイント」を心がけてください。

- ① 寝たばこは、絶対やめる。
- ② ストープは、燃えやすいものから離れた場所で使用する。
- ③ ガスコンロなどのそばから離れる時は、必ず火を消す。
- ④ 逃げ遅れを防ぐために、寝室などに住宅用火災報知器を設置する。
- ⑤ 寝具や衣類からの火災を防ぐために、防災製品を使用する。
- ⑥ 火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器等を設置する。
- ⑦ 高齢者や身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる。

ストーブには、
燃えやすいものを近づけない。



☆3年生 音楽☆

3年生が音楽の授業で琴にチャレンジしました。たった1時間で「さくらさくら」を演奏できるようになりました。



☆球技大会☆

12月14日（金）、2年生が球技大会を行いました。男子がサッカー、女子がバドミントンで、どちらも盛り上がりました。



☆点字体験☆

12月12日（水）1年生が点字体験を行いました。吹田市社会福祉協議会から講師の方に来ていただき、点字の仕組みを学んだり、点字の名刺を製作しました。



1月の行事について（予定）

8日（火）始業式

10日（木）1・2年生チャレンジテスト 3年生実力テスト

18日（金）2年生 百人一首大会

19日（土）中学生の主張大会

24日（木）25日（金）3年生学年末テスト 24日（木）1・2年生実力テスト

25日（金）1年生百人一首大会